

A11
Z
103



* 0003896000 *

0003896-000

A 1 1 - Z - 1 0 3

戦陣の間に叫ぶ

頼母木桂吉・著

民衆通信社

6版

1931

ABA

昭9
A
1319

9

A

1319

立憲民政黨
總務
賴母木桂吉著

戰陣の間に叫ぶ

|| 朝野政策の比較検討 ||

民衆通信社發行

昭 9
A
1319

戦陣の間に叫ぶ目次

A11
2
103



国民批判の焦点	(一)
政戦序曲兩黨總裁の演説	(四)
政友會の戦意沮喪	(二)
杜撰なる産業五ヶ年計畫	(二四)
政策論争の重點	(二八)
官吏減俸の是非	(三四)
民政黨内閣と失業對策	(三九)
輸入防遏の合理的方法	(三七)
農村問題と無産黨の選舉對策	(四四)

735176

戦陣の間に叫ぶ

立憲民政黨總務 頼母木桂吉

国民批判の焦点

九、十月に亘つて行はれる二府三十七縣地方議會の選舉は旬日の後に迫つた、朝野兩黨ともに必勝不敗の陣を布き、無産黨また虎視眈々躍進の機を覗つてゐる。昭和二年秋田中内閣の下に行はれた普選最初の實施による全國府縣會議員選舉は、政府與黨たる政友會の大勝に歸したが、その後昭和三年春の初普選による衆議院議員總選舉を経て内閣は更迭して民政黨の内閣となり、昭和五年春の衆議院議員總選舉に

二
おいて民政黨は議會に絶對多數を占めた、その後内閣を繼續すること
二年餘、今秋の全國的府縣會議員の選舉はいよいよ民政黨内閣の下に
行はれるのである。

中央議會と全國地方議會とにおいては政民兩黨の地位が轉倒してゐ
る、即ち民政黨は衆議院に二百六十名の絶對多數を擁するも府縣會に
於ては政友會の九百六十二名に對し七百三十七名を有するに過ぎない
過日民政黨支部長會議の席上若槻總裁は之を目して、變態的現象と呼
び、今秋の地方政戰を期し、かゝる不自然は一舉に粉碎し去れと激勵
した。濱口前總裁はかつて第五十六議會に田中内閣を彈劾し「偽造さ
れたる不自然の多數」と政友會の頭上に烙印を打つたが、政黨内閣出
現以後、地方議會の選舉は大隈内閣の異例を除き他は悉く政友會内閣

乃至同系内閣の下に行はれ、此間政友會は官權庇護の下にあらゆる專
恣横暴の限りを盡し、地方議會に牢乎たる地盤を築くに至つた。見よ
大正、昭和疑獄史の幾頁かを綴る利權問題とは何ぞ、开は政友會が黨
勢擴大強化の常習手段として利用せる、鐵道、道路港灣、河川橋梁、
治水等凡て地方問題に絡る惡業のそれではないか、偽造されたる不自
然の多數、それは正しく、現在地方議會に有する政友會の地位がそれ
であらねばならぬ。

政府與黨の目指す目標は勿論、この政友會絶對優勢の地盤を覆し、
その地位にとつて代ることである。一方野黨の念願は現有勢力の維持
にあつて、たとひ絶對優勢の地歩は失ふとしても、政民伯仲の間に止
ることを目標としてゐるであらう。民政黨にとつては勝たねばならぬ

選舉、政友會としても敗けられぬ選舉、今や財界並に農村經濟空前の大不況下に直面し民意を問はんとする地方政戦が展開された、朝野兩黨、無産各派、其掲る旗幟や何、其經濟財政政策は如何、國民批判の檢討は先づ此點に向つて集注されねばならぬ。

政戦序曲兩黨總裁の演説

朝野兩黨は地方政戦にのぞむに當り、先づ北信及東北に大會を開き民政黨は若槻首相、政友會は大養總裁共に自ら馬を陣頭に進め當面の重要問題に對する政策を宣明し、以て國民批判の焦點に立つた。

七月十九日民政黨東北大會に於ける若槻首相の演説、

モラトリアム案

諸君最近世界の政局並びに財界に至大の反響を與へたる出來事は米國大統領のモラトリアム案であります。御承知の通り近年世界全般の大不景氣に依て獨逸の財政は愈々窮迫に陥り之が爲に歐洲の事態が著しく安定を缺くに至つたことは争はれませぬ。モラトリアム案の目的は獨逸財政の危機を救ひ、一は世界的不景氣を緩和するに在るものと解せられます。我々は大局の情勢に顧みフーヴァー大統領の提案が機宜に適することを認め、我國自ら米國政府との關係に於て何等の債務を負擔せざるに拘らず本案に對して欣然其の成立に協力せむとするものであります。

對 支 外 交

我對支外交の方針に付ては政府としても又民政黨としても今日迄幾回となく意見を發表したことがあります。世間には速に滿蒙問題に關する我根本方針を確立すべしと云ふ聲のあることを聞きますが、我々は疾くに其の根本方針を決定し聲明致して居るのであります。今更新に確立すべき方針があると考へませぬ。我國は滿蒙地方に於て現に我國民的生存と緊切な關係のある權利利益を享有するものであります。過去數十年の歴史は既に我國民全體の間に之に關する一の固き信念を與へて居ります。此際假令如何なる方面より如何なる要求がありましても我國として斯る性質の權利利益を抛棄し得られないことは公平なる識者の容易に認むる所であると信じます。固より我々の立場は毛頭帝國主義や侵略政策と云ふが如き時代錯誤の思想に基くものではありません。我々は日支兩國互に相侵さず相陥れず双方並行して生存繁榮を全うすることを基礎的主義とするものであります。

萬寶山事件

六

最近滿洲地方に於て支那官憲の日本人並に朝鮮人に對する待遇の問題が數件發生して目下兩國官憲の間に交渉中でありますが何れも夫々地方的解決を期し得られるのでありまして、茲には一々其の内容を論議する必要も認められませぬ。唯其の中に萬寶山事件は不幸にして朝鮮の各地に迄重大なる影響を生ずるに至つたのでありますから此の機會に一言申添へます。此の際我々は朝鮮人と支那人の間に誤解反感の溝を除き去り互に相融和して平和的生活を營み得べき方法を講じ以て禍を轉じて福と爲す様に致したい考へであります。

不景氣對策

諸君内に在つては何よりも先づ不景氣が克服されねばなりません。寔に不景氣は深刻であります。速かにこの不景氣を克服して國民生活の安定を確保することは刻下の喫緊なる要務であります。従つて吾々が只今最も力を致さなければならぬのは正に此點にあるのであります。先づ民間にあつては産業の建直しであり産業界の整理であり更に新時代に適應して存立の地歩を確保し得る處の産業組織の建設であります。欣ぶべきは我々同胞國民がこの深刻なる不景氣に悩まされ乍らもよく艱難と闘ひこれを克服せんとする不屈不撓の精神を發揮してその爲さねばならぬ事に協力邁進しつゝある事であります。果せるかな這般の努力は漸次その効果を示して各種の重要産業中今日の不況時代に處し収益の基礎を立て得るに至つたものも尠くないのであります。

社會政策の整備

社會政策の整備擴充は吾黨が最も意を用ひつゝあるものゝ一つでありまして特に今日の如く經濟界の狀勢が變調を呈し爲に國民生活の不安を感じることに甚しき時に當つては此の方面に關する工夫用意が一層緊要であることは申す迄もないのであります。就中失業者の救濟即ち働きたいといふ意志は充分に持つて居り乍ら不景氣の爲に仕事を失へる人達の救濟の如きは一刻も忽せにすることは出来ないのであります。即ち吾黨内閣はここに見る處あつて或は失業公債を發行し諸般の失業救濟事業を起したのであります。或は失業海員の増加に對しては新に補助金を支出して授産授職の途を開いたのであります。或は職業紹介機關の増加擴充を圖つたのであります。更に窮民救護を目的とする救護法の實施防貧的施設の一たる小兒保險制度の實現若しくは勞働災害扶助法の制定の如き何れも國民生活の安定に資せんとするものであります。

産業の振興

國民生活の安定は産業振興なくしては到底之れを期待することは出来ないのであります。産業振興こそは國民生活安定の第一條件でなければならぬのであります。然るに現代に於ける産業の振興は所謂産業の合理化に俟たなければならぬのであります。吾黨内閣は茲に考ふる處あつて曩に臨時産業合理局を實現し産業合理化の機運促進を圖つたのであります。云ふ迄も力の効果は空しからずして産業合理化は相當の効果を收むるに至つたのであります。然し曩に吾黨は國産愛用の運動を刺激したるに其の効果空しからず今や國産の需要大に増加するの傾向にあることは寔に同慶の至りでありまして吾黨は一層進んで此氣風を助長するの工夫を凝らさねばなり

七

ません。又産業の興隆は吾國産業の勢力を大いに海外に伸暢せしむるにあらずんば期待されること出来ないのであります。随つて吾黨内閣は産業的海外發展の途を開拓する爲に最善の努力を盡さんとするものであります。

農村負債問題

特に近來重大視される、農村負債問題の如きも例へば耕地整理事業資金の償還を延期し或は低利借替への途を開き或は自作農創設維持資金の償還猶豫方法を講ずる等夫々之れが緩和を懸念に工夫しつゝある次第であります。又吾黨内閣が設置したる農林審議會は農山漁村に關する幾多重要諸問題の解決に端緒を與へその振興に資する處少からざるべきを信するのであります。

現内閣の使命

吾黨及吾黨内閣が現に使命とし任務とする處は内は現在の深刻なる不景氣を克服し永遠に國民生活の安定を確保すべき國內經濟機構の建設を圖つて所謂經濟維新の實を擧ぐる事であります。外は列國と協調して世界の平和を確保し經濟界の混亂を鎮定し各國間に於ける圓滿なる物資供給關係を樹立し世界經濟機構の安定に斡旋することであります。依て以て國家の基礎を固め、以て人類の福祉に貢献するにあります。吾々はこの使命この任務を達成せん爲には萬難を排して勇往邁進するの固き決意を有するものであります。

八月五日政友會北信大會に於ける

犬養總裁の演説

政府の所謂不景氣の主たる原因即ち世界的不況は我國に對して未だ何等回復の曙光をもたらず入超減少を以て好況に向ふ徴候の如く宣傳すれど實は購買力喪失の結果たる貿易衰退の現象に過ぎぬのである。又國內の産業は負擔益々加重せられ、物價は下落したるも生産費は却つて減ぜられず、借財の重荷は依然として累積し、全國すべて慢性的恐慌状態を現出してゐる。しかして事業の沈滞に伴ふ失業者は遂に一昨年倍數に及びこれらの世相を背景としたる國及び地方の財政の窮迫困憊今日より甚だしきはなく我黨が第五十九議會で指摘したる歳入見積過大の結果は所謂赤字問題を暴露し、政府の政策全く破綻したのである。政府はこれに對して唯その補充を焦慮しその余に策の出る所を知らずされど補充の財源たる行政財政の整備は曠日彌久今以て寸効だに擧げ得ぬのであるが、窮狀こゝに至りては結局公債による外に方圖なきはずなれど、若しこれに出るとせば彼が國民に向つて公債政策をもつて政治的罪惡なるが如くに宣傳したる責任は如何にして免れ得べきか、國民の張膽明目して監視すべき要點である。殊に地方自治體の財政は中央政治の困難を轉嫁せられたために益々苦境に陥り、今やその根底は破壊せられしとしてゐる。かくの如きは多年地方分權の主張者たる我黨の斷じて許すべからざるものであり、國家の大局より特に地方國民の自覺を切望するのである。抑政黨は確信ある政策を掲げて一意その實行に努むべきは勿論、政黨の國民に對する信用如何もかゝつてこの一點に存する。この意味において我黨は公約したる政策に付更に一層の確實精細なる研究調査に従事し隨時これを公表するのである。既に公表した通り對策の要は國民所得の増進を大眼目としたる經濟政策を確立するの一事である。反對論者にして我黨の産業五ヶ年計畫をもつて單純なる生産増進政策と視るものあらば甚しき誤解である。我黨の計畫は沈滞の極に陥れる産業界に對し國家自らその力を用ひて合理的に助長發展せしむる國民所得増進の根本策に他ならぬ。即ち從來輸入せられたるもの、中につき我國において作り得らるゝを助長するのである。

既に有り餘れるものを更に増進せんと欲するのではない。又五ヶ年とは國民の産業總動員の非常期間を意味し、第一年より既にその一部の効果を的確に收穫せんとするのである。

この政策の實現のためには屢々公約したる如く行政財政及び官業並に官有財産の根本的整理恩給法の徹底的改正、國防の經濟化を斷行する。然して租税公課並に運賃等産業上の負擔を輕減し産業復興の第一歩に資すべきである。これ社會政策の擴張と相俟つて、政治の官僚化即ち政治の中央集權化を排して政治の民衆化即ち政治の地方分權化を實現するものである。今日地方農漁山村の窮狀を親しく目撃し、負債の實態を究め、然してこれが復興を計らんとして方策のこゝに至らざる者は爲政者の資格なき者である。米價問題は暴落暴騰を防ぎ生産と消費との相互の利益を計らねばならぬ。猶本年も引續き價格の暴落に苦惱せる蠶糸問題については滯貨生糸の買上利用を斷行し、根本策の一としては原蠶種を改良して國家統制の下に生産費を低下し收入の増大を期するのである。

最後に滿蒙問題について一言したい、滿蒙問題の本質はいづれの點に存するか、即ち外に溢れんとする國民の經濟生活をして共存共榮の公明なる軌道に頼らしむるにある。人口過剰の我國民は平和なる商人、工業者、農民として四隣に濶歩し、融合せねばならぬ。然るに政府は此の本質を無視して既得の條約上の權益すら蹂躪せらるゝに委ねんとしてゐる。北洋漁業問題又然り、我國海外發展の本質に就て今更隣邦をして疑惑を抱かしめ、其の欲するまゝに容喙の隙を與へたるは痛恨事である。然も財政問題と云ひ外交問題と云ひ又憲政運用に關する問題と云ひ政府は議會に於いて率直に公明に現狀を説明してその處置の可否を討論すべきに拘らず、康安無事を希ふの餘、總て曖昧の言を以つて一時を糊塗し旬日ならずして真相を暴露したるは議院政治の破壊であり、同時に民政黨自ら主張したる主義の放擲である。是れを要するに行政財政に於いても産業に於いても社會政策に於いても現内閣の公約は悉く空文に歸したのである。

政友會の戰意沮喪

從來野黨の言論といへば、無責任の地位にある者の無責任なる放言視されて、單にその壯快味のみが全價値の如く看做されてゐた。ところが現在の政局は此無責任者の言論が、責任者の窮狀打開策と同様の熱意と注目とを以て國民から迎へられてゐる。これはそも／＼何を物語るか、いふまでもなく政争の重點が經濟財政政策に置かれてあるからであり、且つ野黨そのもの、實力及政策が現在の政府者に代つてこの難局を擔當し得るや、窮狀打開の成算ありやを的確に看破せんとする意志を表明してゐるのである。従つて今回の地方政戦においても、野黨の作戦が、もし單に現政府の施設を批評する消極的の一面にのみ

重きを置いて、その政策を明確にする積極的の言論を忘れたならば、恐らくその結果は豫期に反すること甚だ遠きものがあらうと思ふ。

政友會の地方選舉對策最高幹部會の席上、いはゆる『政策』の表明に就いて、紛擾を起したのはこれが爲めて、床次、岡崎、望月氏等の長老組は實行性を確實ならしむるが爲め新政策見合せの自重論を主張し、一方森、牧野氏等少壯派は國民窮迫の現状打開を主とする新政策宣揚の急進論を主張し、自重派の因循姑息を面罵した。併し乍ら結局急進派が彈壓されて政友會は新政策の掲揚を中止して、地方政戦にのぞむことに態度を決定したが、野黨として何事の不見識、この戰意沮喪は國民の期待を裏切ること甚だしい。

然らば如上の見地に立つて、北信、東北兩大會に現はれた犬養總裁

その他の演説は、果して國民の期待に副ふものがあつたかどうか。なるほど現内閣の施設を批評する一面においては、犬養氏一流の毒舌辛辣を極めて痛快なるものあつたが、積極的の新政策については曖昧模糊として何物をも把握し得ない。「わが黨の五ヶ年計畫は沈滞の極に陥れる産業界に對して、國家自らその力を用ひて合理的に助長發展せしむる國民所得増進の根本策である」とする五ヶ年計畫なるものは未だ國民に納得のゆくまでの解説を得てゐない。これが具體的實施の段階を明白にせぬ以上、國民はこれを、例の政友會お得意の空手形以上には受取らぬ。現に前回昭和二年田中内閣の下に行はれた全國的府縣會議員選舉の時には政友會が地租委讓や知事公選を旗印として利用したが、選舉終了後は之を放棄して恬として顧なかつたではないか。

杜撰なる産業五ヶ年計畫

乍併、産業五ヶ年計畫なるものは、昨今政友會唯一のお題目であり、コーラスである。たとへ立案未熟にしてその實體を把握するに由なしとするも、國民は今少しく寛大の胸をひろげて之れを迎へてもよからう。先づ試みに大養總裁の説明に従へば

五ヶ年とは國民の産業總動員の非常期間を意味し、第一年より既にその一部の効果を的確に收穫せんとするものである。この政策の實現のためにはしばしば公約したる如く行政財政及官業並に官有財産の根本的整理、恩給法の徹底的改正、國防の經濟化を斷行する。然して租税公課並に運賃等産業上の負擔を輕減す。

とある。於是乎如何に政友會いきの國民と雖も、「何の事つたツ」と呆然自失せざるを得ない。即ち政友會政務調査會の智囊を傾倒した結果、産業五ヶ年計畫なるものは歸する處、

産業五ヶ年計畫＝行政財政整理＋恩給法改正＋軍備縮小

であつて、是れなら既に民政黨内閣によつてなれば實行せられ、また現に閣議に上程せられ實現の第一段階に入つてある政策と何等の相違はない。寧ろ實現の可能性を多分に持つ若槻内閣のそれが、國民多數の歡迎する處となるべきは言はずして明かである。

一體産業五ヶ年計畫なるものは政友會の獨創に生れたものでない。端的に言へば勞農露西亞の五ヶ年計畫を模倣したものである。其の要旨を検すれば年額一億二千萬圓、五ヶ年通計六億萬圓の國費を投じて

農、工、林、水諸産業の大擴張をなし、以て不況を克服し、國運を振興すべしと謂ふにある。即ち整理、緊縮、金解禁の總てを非難し來つた政友會が、インフレイションの地盤の上に六億圓の産業組織を擴大するといふのである。假りにこれが成功した場合を想定すればどうなるか。我國は今日でさへ低能率、過大設備の産業を抱へて、生産制限を行はねばならぬ状態にある。之に加ふるに六億圓の新設備を以てすることは斷じて不況の打開策ではない。況んや其の設備費を公債に仰ぎ、一層國民の負擔を加重するに於てをやである。若し斯の如き不經濟的産業を關稅によつて保護したらどうなるか（現に政友會はこれを力説してゐる）。それは忽ち一般消費者の負擔となるであらう。露西亞なら共産主義實現の過程に於ける犠牲として之を忍ぶことも出來よう

我國では資本家の不當利得に貢獻する以外、何等の理由をも發見することができない。加之ならず日本國民の生活は輸出入に俟たねばならぬ。露西亞の如く外界より隔離して、自己の狂信に耽けることは不可能である。

日本の産業を振興せんとならば、外に對して其の販路を擴張せねばならぬ。内に對して消費者の利便を増進せねばならぬ。それは生産能率を増し、生産費を引下げねばならぬ。廉價なる良品は内地市場を奪還し、海外市場に進出する。そこに整理緊縮の必要あり、そこに金解禁、低物價政策の必要がある。政友會が産業の振興を講ずるはよろしい。六億の資金を投じて十億の生産を増すと云ふ意氣込も悪くない。併し斯の如き新政策を主張するなら、先づ彼等が過去の放漫政策を清

算してかゝらねばならぬ。積極進取の諸政策は放漫、濫費、不經濟、不健全、インフレーション、高物價、高生産費、此等の凡てを拭き清められたる白地のキャンパスの上に書かれねばならぬ。之を要するに緊縮の基礎工事を忘れた政友會の産業積極政策は、砂上樓閣を築かんとする以外の何ものでもない。

政策論争の重點

現内閣は財政、行政、税制の三大整理を斷行して、不況時の豫算を合理的に編成し、以て時難に當らんとする決心を示して居る。若槻首相はさきに官吏減俸の實施に際し、爾餘の諸政策を遂行するに、一層重大なる責任を痛感することを明言して居る。現に、行政財政整理審

議會は討論進行中にして、國費の節約となるべき幾多の根本的改革が立案せられんとしてゐる。即ち緊縮方針の徹底化であつて、民政黨内閣經濟財政政策の根幹を爲すものである。之に對し政友會は緊縮政策金解禁、低物價政策を非難し、民政黨は儉約によつて輸入を減じ、以て其目的を達成せんとしてゐるが、それは姑息であり消極的である。政友會は寧ろ進んで生産を擴大し、輸入品を驅逐し、以て積極的の輸出入の均衡を圖るものであると揚言してゐる。かくて所謂産業五ヶ年計畫の出現となり、景氣恢復策は緊縮節約を放棄して積極政策を講ずる以外に途なしといふ彼等の經濟政策のイデオロギーとなつた。

わが國の經濟生活はいま世界的變調の海に漂はされて居る。従て爲政者の不況對策も此の還境に立脚して立案せられねばならぬ。濱口内

閣以來二年有半、民政黨内閣は財界の根本的立直しの爲、眞に血を絞り涙を絞り汗を絞つて時難打開に奮闘を續けてきた。而していまや漸く財界好轉の曙光を見るに至つた。此際假りに政友會の積極主義たる放漫財政政策が實現したとすれば、我財界は一體どうなるであらうか。いま我國の財界は未だ其基礎確立するに至らず、又世界の經濟事情も尙不景氣の潮流に煽られて安定して居ない、されば國際的に進出する機運は未だ到來せず、各國共此際退いて財界特に事業界の整理を爲し以て徐ろに將來の發展を計るべき時である。斯る場合に財界建直しの根本策たる緊縮政策を顛覆して、再び政友會の積極的放漫政策を實現せば、立ち所に財界の基礎を動搖せしめて破産に導くに至る事は火を賭るよりも明らかである。即ち生産資金の名の下に公債を濫發し、之

を産業開發の目的で特殊銀行をして低利で民間の事業資金に融通すれば、如何なる結果を招來するか。我事業界の基礎は未だ整理せられざるに、至る所に、泡沫的の事業會社が續出して一時的には活氣を呈し、いはゆる中間景氣を發生するであらうが、會社の濫造は忽ち生産過剩を惹起し、生産過剩の結果は消費之に伴はずして物價を下落せしむる物價が下落すれば對外貿易は好轉して輸出を増加する筈であるが、如何せん國外には今世界的不景氣風が吹き捲り、各國共萬事手控方針で國際的貿易進出の餘地なきため輸出貿易の見込は立たない。そこで折角の事業會社も採算が合はぬことになつて立ち行かず、或は休業となり或は倒産する。そこで低利で融通した生産資金はやがて消費資金の方面に廻り、通貨の膨脹は内地物價を騰貴せしめ、惹いては國際商品

たる輸出貿易品の高騰となり、輸出を減少して輸入を激増すること、なるから、茲に國際貸借關係を悪化し國際信用が失墜して、遂には我經濟界の前途に非常な危機を招來する。日本の經濟界に不安が著しく發生すれば、國內の金融資本家は國內的に危険を感ずるから、轉じて外國に投資することとなり、曰ゆる資本の外國逃避となり、輸入超過の激増による支拂勘定と相俟つて、正貨はドン／＼流出して忽ちその總額を激減する。その結果通貨は兌換を停止するの已むなきこととなり、不換紙幣の濫發が之に伴ひ、遂に紙幣が暴落して戦後ロシア、ドイツ等に現はれた様に米を一升買ふに何百圓、何千圓と云ふ紙幣を要するに至るであらう。その時は我國の貨幣制度は當然破壊され、貨幣制度の破壊は國家經濟を破滅に陥し入るゝ結果となる。

換言すれば今日無暗に積極政策などを實行すれば、遂に我國を經濟的に破滅せしめて、國民を塗炭の苦しみに呻吟せしむるに至ること明らかである。若し斯の如きことあらんか、太平洋の彼方に強大な國力と豊富な財力を以て虎視眈々たるアメリカがある。日本の經濟的破産に乗じて、その魔手を我國の上に延ばすことなきを何人が保證し得やう。誠に今日の難局に對する經濟財政政策の如何は、よく國運を左右するに足るのだから、之が根本對策を過るが如きことあつては悔を千歳に貽すも及ばないのである。されば此際われ等國民は現在の我經濟界の實情を正視し、冷靜に之が根本的建直し策に協力し以て堅實なる方法に依り前途に光明を有する大道を歩み、無定見な主張や、無責任極まる一時的彌縫策に迷はされて、國家經濟の將來に禍根を與へ悔を

千歳に貽すが如きことなき様、嚴に警戒せねばならない。

二四

官吏減俸の是非

若槻内閣は確乎たる信念の下に一部の反對を押切り官吏の減俸を斷行した。之に對し政友會は黨として堂々反對論を宣明する勇氣なく、極めて卑怯なる態度に出たが、地方遊説及黨大會等において部分的の非難を之に加へてゐる。而して其最も通俗に懇へたのは、「政府が官吏の減俸を行つたのは豫算の赤字を埋める爲である。政府はよつて以て赤字の幾部分を埋め得るであらうが、其代りに購買力の削減は消費の減退となり、商品の沈滞となり循環して不景氣の助長となり、更に赤字を擴大するに至るであらう」といふのである。政友會のいふが如く

消費の減退が不景氣深化の原因となることは一面の眞理である。乍併官吏の俸給そのものは決して無盡藏の寶庫から取り出さるゝものでない。國庫の支出は一紙半錢と雖も總て國民の負擔である。故に俸給の支出を減ずることは、要するに國民負擔の軽減とならねばならぬ。而して負擔の軽減は生活の餘裕を生じ、生活の餘裕は直ちに購買力を培養する、加之比較的に餘裕ある者の収入は其一部分を削減しても、直ちに購買力に影響しないが、飢餓線上に彷徨する者に取りては、寸毫の負擔軽減も、其の全額が購買力に變形し、直ちに焦眉の必需品を需要する。大収入は其一部分のみが購買力となるが、小収入は其全部が購買力となつて消費し盡される。故に大収入者の収入を削減して、小収入者の負擔を軽減することは、寧ろ購買力を増進して財界に活氣を

二五

呈せしむる所以である。

世界的不況はあらゆる方面に痛切なる影響を及ぼし、一般市民も農民も収入の激減に悩んで居る。官吏の俸給は戦時の好況時に増額せられて以来、不況の影響を受けて居ない。今日の文化的生活を営む者と農民の生活とを比較し、直ちに減俸の理由となすは早計であるが、官吏も亦理論上一般民衆の苦惱を分擔せぬ譯けに行かぬ。殊に農村の窮乏に至つては言語に絶し、都會人の想像に及ばざる者がある。昨今新聞紙上に散見する農村小學校に缺食兒童の數を増しつゝあるが如き實に由々しき社會問題であり、人道問題である。此狀況を目撃したる市町村公吏等が、到る所に自ら其の俸給を減額して自治體の窮乏を救はんとするなど、誠に涙ぐましき眞情の發露である。此の時に當つて當

局は官吏の減俸を斷行した。最初上下一般普遍的に調査を進めたが、世論に顧みて月給百圓以上の者に局限した。若し其減俸の合計總額が直ちに農民其の他の負擔輕減に差し向けらるゝならどうなるか、それは比較的に餘裕ある人々の収入が一部分取り上げられて、飢餓線上の人々の負擔を減ずる事に利用される事である。乃ち前述の如き原則により一般の購買力を活潑にして、小なりと雖も現下不況の打開に貢献すべき筈である。

然るに今日の場合、不景氣の進行は財政整理の進行よりも急速度であつて、幾多の政費節約も減税に振り向ける餘裕がない。随つて節約すれば、随つて歳入を減じ、恰も官吏の減俸の如きは、赤字の補填の爲に計畫されたやうにすら見受けられる。即ち政友會論難の由て來る

所以であるが、赤字を補填することそれ自體が全然無意義ではない。若し不景氣の進行に伴ふ歳入の減少に對し、之を補填する手段を講じなかつたらどうなるか、究極は國民の負擔を加重して歳出入のバランスを合せねばならなくなる。國民の負擔を加重することは、今日でさへ生活に惱みつゝある國民に對し、更に其の收入の一部分を奪ひて、之を國庫に納付せしむることである。乃ち國民は奪はるゝだけ餘裕を減じ、購買力を縮小する。然らば、今日の場合、現内閣の赤字補填策は、國民負擔の加重を未然に防止して、消極的に一般民衆の購買力を擁護する所以である。政友會は赤字赤字と、さも他人事の如く言ふ、されど、赤字とは日本國家の歳入減を示す記號に他ならない。之を補填すべき策を講じてこそ政治家の經綸である。これをしも非難する政

友會の態度は到底常識を以て判斷することが能きない。

民政黨内閣と失業對策

今日の經濟組織は極めて複雑であつて、一般國民に一々これを理解せしむることは非常な難事である、こゝに悲しむべき錯覺が起る、政友會が皮相の事實のみを指摘して根據なき悲觀論を唱へると、これに附和雷同する者あるが如き、眞に痛嘆すべき事柄である。

政友會は曰ふ。民政黨内閣は三億、四億の國費を節約したが、それはまのあたり消費の激減となつて直ちに不景氣に影響した。地方の補助金を削減したので、之によつて進行してゐた數千萬圓の工事は直ちに中止せられて夥しき労働者を失業せしめた、官吏の減俸を斷行した

それだけ官吏の購買力は減退して是また不景氣の一因を形成した。河川、港灣の修築、道路鐵道の建設、之を中止し之を縮小した、それだけ經濟的活動は停頓し、これまた不景氣の原因となつた、其他曰く何々々と並べたてる。整理緊縮の政策が奏効して、それが好景氣に轉向するのは將來のことであり、痛切に感ぜらるゝ生活苦は眼前の問題である、政友會の議論が俗耳に入り易いのはこれが爲めである、就中失業問題の如き人心を激動せしめ、世を誤る懼れなしとせぬから、こゝに最も正しき理解が必要である。

世界的不景氣襲來の爲めに、各國共最も惱んで居る問題は失業者に對する問題である。正統派經濟學者の景氣循環論に従へば、景氣は十年置き位に一巡するといふ、好景氣時代、即製造工業の盛な時代に適

當な勞働者數のあつた場合に、其反動として不景氣が來て需要が減退する、生産を調節すると云ふことになれば、免るべからざるは失業者の出現であつて、失業者は今日の經濟組織の上では絶対に防ぎ得ないしかし之と同時に失業者に對する對策に付ては、政府は大に努力しなければならぬことは勿論である。加之ならず國民全體に失業救済を訴へて共に協力して之が萬全の對策を講じなければならぬ。失業者の數は亞米利加に於ては五百萬人と言ひ或は三百萬人と言ひ統計の確かなものはない。英吉利は最近其數が殖えて二百四十餘萬人、獨逸は三百九十萬人以上と稱せられ、日本は最近の統計に依つて三十七萬二千となつて居る、此失業統計の數字が正確でないと云ふことに就て兎角の議論あるも、昨年春頃から失業者が段々殖えつゝあるといふことは否

定し得ざる事實である。従て失業對策を講ずる事は刻下の緊急時務であつて、民政黨内閣は着々これが實施にとりかゝつてゐる。即ち昨年九月濱口内閣は失業救済應急對策として次の方針を決定した。

第一 公私事業の施行に關しては左記要綱に依り失業の防止並に救済に努むること。

一、國、公共團體又は民間に於いて既に決定せる事業の實施に關しては其の施行の時期、地域、方法等に關し關係各方面の聯絡を密にし以て事業の施行をして失業の防止並に救済の爲最も有効ならしむるに努むること。

二、地方公共團體の事業に關しては其施行が失業救済の爲特に緊急なる場合に於いては起債を許可すること。

三、民間の事業に關しては其施行が失業の防止又は救済に寄與する事大なるものなるときは許可又は認可を必要とする事業は成るべく速かに許可又は認可すること。

四、失業救済の爲特に緊要なる場合に於いては政府は地方公共團體に失業救済事業を起興せしむる等應急の措置を取ることあるべし

五、小額給料生活者の失業防止並に救済に關しても前記各號の例に依ること。

以上は地方團體の事業に依る失業救済應急策であるが、更に失業者救済の根本的對策として、社會政策審議會の答申に基き、昨年十二月二十四日の閣議に於て政府は次の諸項目を成るべく實施する方針に決定し、若槻内閣また之を踏襲して現に實行に着手してゐる。

- 一、政府は少なくとも毎年一回全國樞要地方に關し大體大正十四年に實施せるが如き失業統計調査を行ふと共に國勢調査施行の都度全國に亘り簡單なる失業調査を併せ行ふ事。
- 二、職業紹介機關の整備充實を期する事。
- 三、物價金融の調節統制を圖る等産業界を安定せしむるの方途を講じて失業の發生を防止すると共に進んで産業の發達、國產獎勵、貿易の振興を圖り以つて職業供給量を一層豊富ならしむるに努むる事。
- 四、地方的工業の發達、農村(漁村を含む)に於ける副業の獎勵、其他農村の振興、農村の生活の改善を圖るの外農閑期殊に冬期に於ける農村の餘剩勞力利用の途を講じ農業土木、山林事業等を起し以つて人口の都會集注を防止すると共に廣く人口の地域的配分を適正ならしむる爲内外移住の圓滿なる發達を期する事。

- 五、一般失業の防止並に所謂知識階級就職難緩和を圖る爲職業指導を徹底せしむると共に教育の制度方針に關し講究する事。
- 六、失業共済施設の普及發達を促し之れが適當なる監督助成の方途を講ずる事。
- 七、我國情に適應せる失業保險制度に關し調査を爲す事。
- 八、失業防止に備ふる基金(失業基金)の蓄積に關する調査を爲す事。
- 九、失業緩和の見地より労働年齢、労働時間、労働賃金を調査する事。
- 十、産業合理化を行ふに當つては過渡的失業との關係を考慮し其緩和に努むる事。
- 十一、失業の原因並に現象につき充分なる調査研究を爲すと共に第三

項以下の諸對策並に曩に答申せる事業調節方策等の實施を圓滑適切ならしむる爲綜合的聯絡的の常設機關を設くる事。

當時の濱口内閣は上述せる地方起債の緩和を許容したばかりでなく國家の力を以て失業者を救済すべく、内務省をして三千五百五十萬圓の公債を發行せしめた、政友會は非募債主義の拋棄なりとて大に政府の處置を論難したが、想ふに非募債主義といひ緊縮方針といふも、其目的は要するに堅實なる財界の復興を計り、以て國民生活の安定を計る爲の手段に過ぎない、今財界復興の途上に於て同胞の一部が、失業の爲餓死線上を彷徨してゐる時、人道上は固より國家自衛の見地よりするも之れを放置する事は出来ない。然かも失業問題の重大化はやがて財界復興の障害となるべき性質のものであるから、政府が斷乎此舉

に出たことは寔に時宜に適した處置として賞讃にこそ値すれ、政友會の非難は當らない。

輸入防遏の合理的方法

世界各國はいづれも生産過剩と物價下落に苦んで居る。その結果各國は良品廉賣、關稅增加、不當廉賣等の政策によつて、内外の市場に激烈な競争をなし、所謂眞劍なる平和の經濟戰爭を行ひつゝある。我が國ではこれ等外國の政策に押されて、綿布、綿糸その他雜貨の賣行は悪くなり、海外市場は狭められ、輸出減じて國內の生産業は採算取れざるに至り、加ふるに世界的不況と銀の下落とに依つて、輸出の大宗たる彼の生糸、綿糸、綿織物、絹織物の輸出は著しく減少した。こ

の推移に放任しては到底我が國の景氣は恢復し得ぬのである。乍然、吾々はこの難局に直面し唯徒に不景氣で困ると泣言を云ひ、悲觀しても詮なきことである。各國に遅れたりと雖も一方産業の合理化運動を起して、益々良品廉賣主義を實行し、更に輸出増進に力を盡すべきは勿論であるが、他方又國際貸借の不均衡を回復するには、更に大いに輸入防遏に力を注がなければならぬ。而して輸入防遏の合理的方法は現内閣によつて高唱力説せられつゝある國産品愛用を以て第一とする最近商工省の發表によれば、輸入品の中國産品を以て代用し得るも實に六億圓の多きに達し、更にこの六億圓の内譯を點檢すると、約二億五千萬圓位のもは價格も品質も外國品に比し決して劣らざるのみならず、生産能力にも充分餘裕あり、内地の需要全部を満たし輸入

は完全に防遏し得るのである。

我が國の外國貿易は、近年約二億五千萬圓の輸入超過に惱んで居るのであるから、即時に二億五千萬圓の輸入を防ぎ得るとしたならば、二億五千萬圓の生産業を起す事が出来るのである。茲に於乎政友會は例の産業五ヶ年計畫を振り廻はし、緊縮政策を抛棄して、大に公債を起し、積極的に事業を起すべしと主張するのであるが、政友會の不景氣對策論は先決問題たる國際貸借のバランスを度外視する所に錯覺がある、何となれば、前にも述べた様に此際積極放漫政策に出る事は財界を攪亂し、惹いて物價昂騰し、輸出は減じ、輸入は増加するといふ國際貸借上最悪の結果を招來し、景氣恢復の大障害となるからである。こゝに混同してならないのは、國産品愛用と浪費の區別である。政

友會は民政黨内閣の如上の努力を非難して浪費の獎勵であり、現内閣の緊縮節約方針と矛盾するではないかといつてゐるが、現内閣のそれは、決して新たに消費を起すといふのではなく、今國民が消費しつゝある外國品を止めて、國産品を使用せよと言ふのである。現にこの不景氣でも我が國は年々莫大なる金を外國に支拂ひ外國品を使用して居るのである。此消費を外國に需めずして、國內に需めよ、金を外國に支拂はず、國內に於て消費せよ、國內の生産を援け、國內の産業を振興し、以て外國の勞働を驅逐し、國內の勞働力を生かし、不景氣の回復に協力せよと政府は叫んでゐるのである。

産業五ヶ年計畫の誤謬指摘に對する退路として、政友會は保護關稅論を以て對抗してゐる。即ち世界的物價の下落は日本の生産業を破壊

するから關稅によつて保護すべしといふのである。乍併漫然と關稅を以て國內の産業を保護することは非常な弊害を貽す。何となれば、今我國の産業界の現状は、不當な借入金の始末をなし、事業の整理を斷行しなければならぬ所謂整理時代である。大工業、大企業にして未だ整理つかざるものが突然配當を減じ、突如内部の状態を變へる爲めに一般財界に非常な攪亂を來して居るのである。従つてこれを漫然と關稅で保護することは絶対に不可である。勿論重要産業にして、整理を爲し、金融其他の始末を爲し、將來日本に此事業が打立てられるといふならば、或はそれに對して、政府は十分保護獎勵すべきであつて、例へば日本の製鐵業の如き可成困難を來してはゐるが、此等は事業の統制、合併、合理化、金融の整頓が出來て、將來の見込み充分うち立

つ組織が完成されたならば、こゝに始めて關稅保護といふことが考へられるのである。

政友會は曰ふ、輸入超過の事實は我國が決して生産過剰でない證據である。大いに事業を起し生産を旺んにし以て外國品を驅逐すべしと即ち混沌たる産業界の現状を無視し、整理や統制は飛越して、先づ生産を増大し、若しいけなかつたら關稅で保護して外國品と競争すれば可なりといふ主張である。乍併國內の生産費を國際平準に引下ぐる事を敢てせず、只管に不自然なる消費を増大して行つたら、其結果は如何であらうか。世界の滯貨は、消費力旺盛なる高物價の國に向つて殺到する。買へばこそ賣れる、賣れるからこそ生産すると云ふ政友會の主張は一面の眞理であるとしても、其の賣れる製品は輸入品であり、

其生産する工場は外國工場であつたら如何であるか、外國よりの輸入品は外國の原料と外國の労働者との結合物である。其輸入品が内地市場に殺到する事は、外國労働者が内地産業地帯を侵略して、日本労働者を失業の淵につき落とす事である。政友會の主張は國際貸借の均衡を破つて正貨を喪失する許りでなく外國の産業と労働者とを救済して、日本の労働者を失業せしむることである。之で不況の對策となると思ふが如きは、經濟學の原理を無視した狂想盲信である。

農村問題と無産黨の選舉對策

以上は主として朝野二大政黨の經濟財政政策について陪判を試みたのであるが、一方無産黨各派は如何なるスローガンを掲げて地方政戦にのぞまんとしてゐるか、一現下の不景氣は社會主義の實行以外に打開

の方法なし—といふのが其第一に掲ぐる旗幟である。而して策戦としては既成政黨の暴露戰術に出づべく材料の蒐集集中なりと聞くが具體的のものは未だ發表されてない。

階級的立場を嚴守する意味に於て、無産各派提唱の共通なるものをあぐれば、無産者モラトリアム、失業反對、農村窮迫、暴壓反對、帝國主義戰爭反對等の項目が數へられてゐる。之等は日常鬭争の眼目としてさまざま目あたらしきものでないが、更に之を強力に展開し選舉鬭争に戦ひ獲る方針である。

無産者モラトリアムは慎重考究の價値ある問題である。先般若槻内閣の閣議に於て承認された農林省提案の、地方農漁村低利資金取立一年間免除の如きは、既に其一部分の實行と看做すべきものである。乍併

全體的無産者モラトリアムの實行は果して能きるかどうか、昔足利義政は徳政を行ひ官民一般の借金を棒引したことがある。が不幸にして義政時代と昭和時代とは、經濟組織の本体を異にしてゐる。足利時代の債權者は皆な富み、債務者は皆貧しかつた、今日は必ずしもさうでない。例を農村借金の一部分をなす低利資金にとつて一切棒引にするかと假定する、低利資金は勸業銀行の手を経て融通せらるゝ、勸業銀行は大藏省預金部より融通を受ける、大藏省預金部の金の大部分を構成するものは郵便貯金である。其の郵便貯金は實に全國中産階級以下の膏血を絞り、粒々辛苦の結果蓄積せられたるものではないか、農村の借金が一部棒引にせられると共に、直ちに全國の郵便貯金が返らなくなるなら、徳政は決して徳政なりと云ふことは出来ぬ。尤も現内閣が

實行せんとする以上に無産者モラトリアムの範圍を擴大する餘地はあ
るかも知れぬが、無産政黨の主張たる徹底的モラトリアムの實現は困
難なことである。

無産政黨によつて指摘せらるゝまでもなく今日農村の窮迫は甚しい
農村借金の總額は總計五十億に達し、其額は殆ど國債の全部に匹敵す
る、國債の利率は四分とか五分とか六分とかに過ぎないが、農村のそ
れは低利資金にて一割以上、其他のものは二割三割に達することが珍
しくない。五十億の債務を全國農家五百萬戸に割あつれば、一戸平均
千圓の借金である。それが概して高利である。今日農村の窮乏は世界
的問題であるが、殊に我國の如き收約農業には報酬漸減の法則が行は
れて、既に行き詰つたとさへ言はれて居る。或學者は農業を以て頽廢

する産業とさへ稱して居る。それ位に利益の少ない農業に於て、一戸
平均千圓の高利を借りては逆も浮ぶ瀬がない。農村の負擔軽減は刻下
急務中の急務である。

現内閣の銳意努力しつゝある行政、財政、税制の整理、減俸、恩給令
改正、軍備縮小等いづれも財政經濟の根本的立直し手段である。而し
て此等政策は今日より以上に徹底化せられ、其の得たる財源は一紙半
錢でも國民負擔の軽減に差し向けられねばならぬ。第五十九議會に約
束せられし三千餘萬圓の減税と雖も、有るは無きに勝つて居る、地租
の軽減は單なる地主階級への恩典なりと非難する無産黨の主張の如き
問題の性質を了解せざるものである。地主の負擔にてもいさゝか減ぜ
らるれば、それが小作人の負擔軽減に轉嫁せられざる理由はない、地

主と小作人と對立する時、彼等の争は死活の急に脅かされて居る。地租の輕減が幾分にも地主の生活に餘裕を與ふる時、地主は其だけ小作人に對し讓歩の餘地を見出し得る次第である。中央地方幾十百種の課税は之を輕減するだけ民衆の生活を緩和する所以である。此意味に於て現内閣の低利資金取立一年間猶豫の如き、其金額僅かに三千萬圓に過ぎないとは言へ以て地方に活氣を與ふる契機たるを失はぬ。

經濟財政政策を論争の重點とする地方政戦は展開する、民政黨、政友會、無產黨各独自の立場に於て政策を宣明し以て國民批判の焦點に立つてゐる、地方民衆は果して何れをとるべきか、時難の現狀に對する真相の把握、各政策に對する嚴正なる檢討、而して政黨それ自身の有する實力信用、此等の綜合意識が最後の審判を下すべきである。

昭和六年八月廿九日印
 昭和六年九月一日發
 昭和六年九月十八日第六版發行

定價金十錢

著者 賴母木桂吉

東京市芝區南佐久間町二ノ一

發行者 竹本治三郎

東京市京橋區木挽町一ノ一

印刷者 仁川堂川橋印刷所

電話京橋三三八二番

不許
 複製

發行所

東京市芝區南佐久間町二ノ一

民衆通信社

電話芝四四〇一

大賣捌所

東京堂・東海堂・大東館・北陸館

PATENTED NO. 119016
 CAT. NO. 854
 "F - M"
PAMPHLET BINDERS
 are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High	Wide	Thick
851 (菊倍)	30. cm.	x 22.5 cm.	x 1 cm.
852 (四六倍)	26. "	x 18.5 "	x 1 "
853 (菊)	22.5 "	x 15. "	x 1 "
854 (四六)	18.5 "	x 12.5 "	x 1 "
855 (特)	24. "	x 15. "	x 1 "

Special sizes are made to order
Library Supplies in All Kinds
F. MAMIYA & CO
 OSAKA-TOKYO-FUKUOKA

